

# ひらつかん

## HIRATSUKA CITY MUSEUM '84 2月号

### ◇昭和57年度事業報告◇

#### 館活動は、初期的な段階から 発展的な段階へと進展・・・

過去・現在・未来にわたる「相模川流域の自然と文化」を展望しつつ、新しい時代のくらしと文化を創造し、望ましい人間形成の一助を担うことを使命とした、当博物館は、昭和51年5月開館以来、7年目を迎えることになった。

この間、来館者や地域住民、関係機関等から、「よりよい生活をするためによりよく地域を知る」機関として親しまれ、学芸員を中心とした調査研究活動や地域住民への教育普及活動は、初期的な段階から発展的な段階へと進展しつつある。

こうした状況下における、当博物館の、57年度の施策と事業の概要は、以下のとおりです。

【調査研究活動の推進】市民が求める「生きた博物館」へ対応していくために、生物・地質・天文・歴史・民俗・考古・美術の各分野の調査、研究活動を推進し、資料の収集、分析、整理等を進めました。58年2月には、市内上吉沢・山田屋敷にて、8万年前のナウマンゾウ化石が発見され、関係者を驚かせました。

調査、研究活動の成果として公表した出版物の主なものは、次のとおりです。

- 平塚市博物館研究報告「自然と文化」第6号
- 平塚市博物館年報 第6号
- 平塚鳥類誌
- 掘り起こされた平塚(特別展図録)
- ガイドブック4 「地層と化石」
- 平塚の石仏3
- 銀河 A26, 27, 28, 29

【展示と機材の整備】新たに収集した各種資料、調査研究の成果等の市民への公開と、展示内容を市民の生活テーマや学習活動に対応し得るものとするため、屋外に、「赤碧玉」(新潟県両津市産)、

「珪化木」(岩手県一戸町産)の展示コーナーを開設しました。

鹿、クロウ、オオコノハズクのはく製標本、タヌキ、イタチ、コサギ、カケスの骨格標本を作るとともに、教育普及用ビデオ映像記録(本荘赳氏の作画風景)を制作しました。プラネットarium用視聴覚器材、複写機、卓上製本機、昆虫標本棚などの、機材の整備充実を図り、体験学習会、調査研究活動に必要な備品なども整備しました。

【博物館事業(教育普及活動)の充実】57年度は、下記の特別展を開催し、好評を博しました。

△デッサン教室作品展	期間 4/2~4/20
△近世資料展	5/15~5/30
△市制施行50周年記念特別展	7/1~7/4
△掘り起こされた平塚	7/20~8/29
△名墨展	10/12~10/24
△野鳥生態写真展	12/1~12/26
△日本刀展	1/9~1/23

表-1 博物館利用状況

総入館者数	うちプラネットarium入館者数	投影回数
108,765人	25,095人	294回

また、博物館の備える機能を活用し、自然観察会(8回)、星を見る会(11回)、土曜観察会(24回)、地層観察会(11回)、デッサン教室(21回)、古文書講読会(19回)等を開催して、市民の体験的学習活動を推進しました。

57年度の利用状況は表-1のとおりです。

【経費】博物館活動の充実に要した経費は、下表のとおり、総額で約6,205万円余りでした。前年度の決算額は、7,550万円でしたので、対前年比で17.8パーセントの減少率となっていますが、初期の展示整備が前年度で終ったためです。

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特定	一般財源
円 62048,783	円 -	円 -	円 -	円 2897,150	円 59,152,653

## 2月の行事

1	水	プラネタリウム(団体)
2	木	"
3	金	
4	土	プラネタリウム、古文書講読会
5	日	プラネタリウム、自然観察会「弘法山を訪ねて」
6	月	(休館日)
7	火	プラネタリウム(団体)
8	水	"
9	木	" デッサン教室
10	金	デッサン教室
11	土	(建国記念の日・休館日) 星を見る会(南原公民館)
12	日	プラネタリウム
13	月	(休館日)
14	火	プラネタリウム(団体)
15	水	"
16	木	" 体験学習「陶器を作ろう」
17	金	
18	土	プラネタリウム、古文書講読会
19	日	" 地層観察会
20	月	(休館日)
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	プラネタリウム、石仏を調べる会
26	日	プラネタリウム 移動博物館(旭北公民館)
27	月	(休館日)
28	火	プラネタリウム(団体)
29	水	(月末休館日)

※ 2月のプラネタリウムは、「ハレー彗星 Part II」をテーマに投影しています。



### 2,3月の行事

あなたも参加してみませんか

#### ●移動博物館

「平塚の野鳥展」

2月18日(土)~19日(日) 中原公民館

2月24日(金)~26日(日) 旭北公民館

(時間は、いずれも9~16時まで)

「星を見る会」

2月25日(土) 旭小学校校庭

(時間は、18~20時。雨天、曇天の際は、旭公民館でスライドなどでお話をします。)

#### ●春期特別展「平塚の植物」

平塚市内には、約1,000種類の野生の植物が生えています。四季に咲く草花・植物と動物の深いつながり・ふえている帰化植物などの話題にそって、写真と標本で代表的な平塚の植物を紹介します。

会期 3月1日(木)~4月8日(日)

会場 特別展示室(入場自由)

#### ●自然観察会「酒匂川上流をたずねて」

西丹沢の入口、谷戸付近の酒匂川を歩き川原の石・化石・鳥などの観察をします。

日時 3月4日(日)8~17時(雨天中止)

場所 山北町谷戸付近

申し込み 往復ハガキで2月25日まで博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

#### ●星を見る会「月を見よう」

上弦前の月(月令6.6)の表面を観察します。

日時 3月9日(金) 18~20時

場所 博物館科学教室

参加自由。当日科学教室へお集まり下さい。

#### ●体験学習No.81「拓本墨を作ろう」

拓本墨の作り方と、拓本のとり方を学びます。

日時 3月11日(日) 10~15時

場所 博物館科学教室

対象 小学4年生以上

費用 1人500円(材料費)

申し込み 往復ハガキで、3月5日まで博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で15名まで。

知っていますか

# 平塚の年中行事

## 2 節分の豆まきとヤッカガシ

節分の夜、「鬼は外、福は内」といって豆をまくことはまだたいていの家でしていることだと思います。節分というのは文字通り、冬と春の節を分ける立春の前日のことで、今の暦でいえば2月3日か4日になります。ところが、これを旧暦にすると立春は12月末から1月初旬の間で、たとえば今年の立春は新暦でいえば2月5日ですが、旧暦では1月4日です。年賀状に「賀春」などと書く感覚は、旧暦になおしてみれば季節的にもピッタリしてくるわけです。

今では節分といえば、豆まきを思いうかべる程度でしょうが、実はこの日には重要な意味があります。それは、この日を「年越」といっている所が多くあるからで、市内でも古老の人たちはこのいい方を伝えています。日本の年中行事は長い歴史の中で様々な文化をとりこみ、複雑な構造をもっているわけで、たとえば年の変わり目がいつかということを見していくと、多くの変遷を経て現在の12月31日・1月1日となったのがわかります。こんなことを書いたのは、節分・立春に年の変わり目という考え方があるからです。

節分の夜の豆まきは神社や寺院で行われる追儺・鬼やらいの行事がもとで、各家庭の豆まきはこの鬼やらいが普及したものです。追儺は本来中国の行事で、これが奈良時代に日本の朝廷に伝わり、中国式に年末の晦日に行われたことが『続日本紀』にあります。そして現在、各家庭でしているような豆まきは室町時代の記録にもみえ、古くからの行事といえます。

節分・立春が年の変わり目という考え方には、例えば先に記した節分を「年越」ということ、まいだ豆を拾って自分の年より1つ多く食べるということなどからうかがわれます。節分は地方によつては年取りともいっており、年の数より1つ余分に豆をたべるのは、これによって年を1つ重ねる日だったことをもの語っているのです。

話が複雑になりますが、それでは節分=年越と

いう考え方は本来あったかというと、それは違います。先に追儺は大晦日に行ったという記録が『続日本紀』にあるとしましたが、これからすれば今の節分の豆まきはもとは大晦日に行われ、それがのちに暦上、旧暦では節分と大晦日が接近した日であるがために、節分の行事となり、年越の言葉や考え方も一緒に節分に移っていたのです。このような経緯で節分・立春に年の変わり目という考え方があまり、「年越」の言葉も使われているわけです。

節分の夜の豆まきは、年の境目にこれで鬼を追い払おうという呪術ですが、豆をまくことにはそのこと以外に、散供（まくことによって神に供えるということ）という意味も考えられます。そう考えると豆まきで追い払う鬼は善い鬼とも解されます。豆まきの説明が長くなりましたが、節分にはヤッカガシといい、図のようにイワシの頭を



ヤッカガシ

木にさし、ヒイラギの枝を添えて家の門口につけることも行われました。これは現在、市内ではほとんど行われなくなりましたが、昔はどこの家でもしたことです。ヤッカガシは、市内の吉沢地区では「臭い臭いヤッカガシ、遠くの方へ飛んで行け」と唱えて玄関口にさしたといい、また、須賀では「ヤーレクサイヤッカガシ、隣りのバアサンボボクサイ」といながらイロリでこれを焼き、鏡口につけたといいます。ヤッカガシの唱え言は須賀のように焼く時にいうのが本来の形で、吉沢の例はのちの変化です。このヤッカガシはどこの地区でも魔よけとか悪霊が家に入らないようにとの呪いでしたといいます。つまり、焼いて匂いを出したり、葉先がとがったヒイラギが魔よけの呪術となるわけです。ヤッカガシの意味は、これを一晩門口につけて邪霊の侵入を除き、この日は家族が家中で忌ごもりをしていなければいけないということです。

（学芸員・小川直之）



## 59年度 みんなで調べよう 「緑の国勢調査」調査協力者募集

環境庁では、身近な動植物70種類の分布を、全国からボランティアを募って調べる「緑の国勢調査」を計画しています。

博物館では、この調査に協力し、市民の皆さんから調査協力者を募って、平塚市周辺を調べることになりました。特別な予備知識は必要ありませんので、奮って御参加下さい。

また、すでに環境庁に直接申し込まれた方も、御連絡下さい。

### ○調査打ち合わせ

(休日コース) 4月22日(日)  
13~16時 博物館にて

(平日コース) 4月24日(火)  
13~16時 博物館にて

### ○調査

各自、分担した地域での調査を、4~10月の間に、3~4日間行う。

### ○調査まとめ

10月下旬頃

### ○申し込み

2月29日までに、ハガキで博物館まで。  
人数制限はありません。折り返し、くわしい  
調査内容のプリントをお送りします。



### 「はくぶつかん」の郵送を希望される方は…

博物館では、毎月発行している「はくぶつかん」を御希望の方に郵送する便をはかっております。  
郵送を希望される方は、60円切手(1年分もしくは半年分)を同封の上、下記宛お申し込み下さい。

〒254 平塚市浅間町12-41  
平 塚 市 博 物 館

## プラネタリウムの投影時刻等が 4月から変わります

### ①投影が始まる時刻

		3月まで	4月以降
土曜日	第1回	13:40	14:00
	第2回	15:00	15:30
日曜日	第1回	10:30	11:00
	第2回	13:30	14:00

それぞれ10分前より開場いたします。

### ②きっぷの発売

開館(9時)と同時に当日のきっぷを発売します。第1回、第2回どちらでも買うことができます。ただし第1回のきっぷで第2回を見たり、第2回のきっぷで第1回を見たりすることはできません。

3月末までは従来どおりの時刻(土曜日第1回12:00 第2回14:00 日曜日第1回9:00 第2回12:00)に発売を開始します。

## 受入寄贈資料

12.8	ゴイサギ	横須賀市田浦町6-22 鈴木茂也様
11	ウグイス	大磯町高麗2-21-1 -143 田端 裕様
15	冷蔵器	平塚市中里15-8 中戸川格様
17	キジバト	清川村煤谷1,104-6 3 佐藤邦人様
18	トラツグミ	横浜市金沢区富岡東6 -1-10 萩原文彦様
25	鉱物標本	平塚市桃浜町7-25 2-107 木島 勇様
27	ボーリング資料	市・開発指導課
1.11	ボーリングコア	市・建築課
24	車長持	平塚市徳延365 明王院 御協力を深く感謝いたします。